



# おちに 2月号

新宿区立落合第二小学校

教員生活38年を振り返って

副校長 木下 直人

先日、ある学校で赴任していた、当時PTAの役員をしてくださっていた方からお電話がありました。「あの人が今度、地域で行われている小中学生作文発表会の代表生徒に選ばれ、中学3年生として作文を発表します。お時間があれば、聞きに来ていただけませんか。」という内容でした。

その話を聞き、その子が小学生の時のことをついこの前のことのように思い出しました。授業を抜け出してはいろいろと歩き回り、さまざまな出来事を起こしていました。その当時も私は副校長でしたので、そろそろあの人がふらふらする時間帯だと思い、校内をよく巡回するようになりました。そうすると4回に1回くらいの割合で、廊下で会うことができました。授業中なのですが廊下で会う回数が増えると不思議なことに親近感が増してきて、「ちょっと話でもしようか?」と言うと、相手も「はい」と言って、会議室で話をたびたびすることができました。私からのいろいろな質問にもはきはきと答え、そして自分の意見はしっかりとっていました。1対1で話をしているときは、普通に会話ができるのですが、クラスの中に入ると「がんばらなくちゃ」という神経が大きく働いてしまい学習のルールが守れなくなってしまったようでした。担任の先生からいつも注意を受けてしまい先生との関係もうまくいきませんでした。その先生も悩んでいたもので、放課後その子の良さについて、何度か話し合いをもちましたが、なかなか改善につながる方向性を見い出せずにいました。そのうちに、その子に「どうしたい」と聞くと、「この会議室で勉強してもいいですか」と言うので、職員室前にある会議室で2~3回、勉強するようになりました。

作文発表会当日、その生徒の作文を聞くことができるとともに、その子にも会って話をすることができました。中学3年生でしたが、あの時と全く同じ笑顔で話をすることができました。作文の内容もこれからの進路について自分でみつめ堂々と発表をしていました。

人と人との結びつきとは、ちょっとしたことがきっかけで、すぐわかり合えたり、その反対に1つのことがなかなか許せなくて先へ進んでいくことができなかつたりすることが起こります。

私もこの3月で38年間の教員生活を終え、定年退職になります。今まで専科教員、少人数算数担当、担任24年間、副校長11年間といろいろなことをさせていただきました。そしていろいろな子どもたちとも出会ってきました。自分の意見を述べるのが上手な子、何げない言葉で友達を笑わせる子、発想のひらめきに輝いている子、とても手先が器用な子、私によく叱られた子等々、走馬灯のように蘇ってきますが、一体どれくらいの子もたちと理解しあいながら指導することができたのだろうかと考えてしまうことしきりです。

でも大切なことは、「自分で働き給料を稼げる社会人に育てていくこと。そして自分の考えをもち、少しずつでも前へ進んでいける人になってほしい。」という気持ちで、教師は子どもたちに示しながら、保護者は見守り支えていく姿勢が大切であると強く感じています。

## 2月の生活目標

◎あとしまつをきちんとしましょう。

- ・遊んだ後の片付けをきちんとしましょう。
- ・手あらいうがいをきちんとしましょう。
- ・衣服のちようせつをすすんでしましょう。
- ・空気のいれかえをしましょう。



## 2月の行事予定

週	月	曜	行 事 予 定	放
B	2月1日	水	委員会	
	2	木	児童集会(図書委員会)	SC来校 〇
	3	金		SC来校 〇
	4	土	学校公開⑦ 3時間授業 書き初め展終 模擬選挙(6年)	SC来校
	5	日		
A	6	月	全校朝会	〇
	7	火	情報モラル授業(5年・6校時)	SC来校 〇
	8	水	特水時程4時間授業	
	9	木	社会科見学(6年) 安全指導	SC来校 〇
	10	金	体育朝会	SC来校 〇
	11	土		
	12	日		
B	13	月	全校朝会 避難訓練(集団下校)	
	14	火	いっぱいあそぼうでい	SC来校 〇
	15	水	クラブ	
	16	木	児童集会 学校保健講演会 単縄パフォーマンス	SC来校 〇
	17	金	若葉学級お別れ遠足	SC来校 〇
	18	土		
	19	日		
A	20	月	全校朝会 新1年生保護者会①	
	21	火	小学校演劇教室(5年)	SC来校 〇
	22	水	クラブ(3年生クラブ見学)	
	23	木	音楽朝会	SC来校
	24	金	保護者会(6年)	SC来校
	25	土		
	26	日		
B	27	月	全校朝会	〇
	28	火	6年生を送る会 交流給食	SC来校 〇
	3月1日	水	特水時程4時間授業	
	2	木	体育朝会 租税教室(6年)	SC来校 〇
	3	金	中学校体験入学(6年) 体育館貸出禁止(入学式まで)	SC来校 〇
4	土			
5	日			

※「SC来校」とは「スクールカウンセラー」が本校に勤務している日です。

※放課後遊びのある日は右の表に〇がついています。

### 1年教室から

1年担任 **金子 秀子**  
**大山 麻貴**

1年生が4月に入学してから早いものでもう1年が過ぎようとしています。支度の仕方もよく分からず、6年生に手伝ってもらいながら毎日を過ごしていたことがつい最近の事のように感じられます。今では、支度はもちろん、当番や係の仕事も自分たちでしっかりとできるようになりました。さらに、自分から「先生、これしますか?」とか、「これはこうした方がいいですか?」など進んで取り組もうとする姿もたくさん見られるようになり、頼もしい限りです。

1組、2組、63名はとっても元気でパワフルです。だから、何事にも一生懸命取り組みます。2学期の学芸会では、「本番が一番楽しかった!」「全然緊張しなかったよ!」などと感想で言うくらい、度胸もあります。時々パワーがあふれすぎて困ってしまうこともあります。4月には、新しい1年生をぐいぐい引っ張ってくれる素敵なお手本になることを目指して、残り2ヶ月がんばっていきましょう!!

3学期になって少しずつ「もうすぐ2年生」という自覚が芽生えてきています。新しい1年生のかっこいいお手本になることを目指して、残り2ヶ月がんばっていきましょう!!

### 6年生社会科見学

6年担任 **田中 良治**  
**増田 義久**

6年生は現在、社会科の授業で我が国の政治について学習しています。この学習をさらに深めるために、2月9日(木)、社会科見学に行きます。

まず「国会議事堂」では、実際に国政が行われている本会議場などを見学します。その後「参議院特別プログラム」に参加し、議長、大臣、議員などの役割に分かれて、国会の本会議での様子を疑似体験します。

次に「憲政記念館」に向かい、明治から今にいたるまでの我が国の政治や国の情勢の移り変わりについて、展示物やビデオを見て、学びを深めます。

最後に、「昭和館」を訪れます。そこでは、悲しい戦争や戦後の復興など、激動の時代「昭和」についての詳しく知ることができます。歴史や政治の学習についてのさらなる理解につなげてほしいと思います。

また、この社会科見学ではバスで移動しますが、国の政治の中心地である官庁街も通ります。車窓からの風景にも興味をもってほしいと思います。

社会科の授業では、教科書や資料集、各種資料をもとに調べて学ぶことが多いですが、このように見学したり、体験したりすることも重要です。この社会科見学に意欲的に取り組むことで、政治に対する関心を高め、さらに理解を深めていってほしいと思います。

**転出の予定**がありましたら、早目に学校・担任までご連絡をお願いします。

### 給食室から

栄養士 **安保 千明**

今年度も残すところ2ヶ月となりますが、4月に落二小へ異動してきた私からするとあっという間の1年間でした。子どもたちにもっと食に興味をもってもらうため給食でもっとしたいことがあってもなかなかできず、切歯扼腕したこともありましたが、そんな時、子どもたちからの「いつも給食おいしいです」などという言葉に何度も励まされました。今年度から栄養士だけでなく、調理員さんも給食時間に教室を回る取り組みをしてきました。日頃なかなか会うことができない調理員さんに、子どもたちが笑顔でお礼を言っている姿が印象的でしたし、その笑顔が調理員さんのやる気にもつながったようです。

学校では給食だけでなく、授業でも食育を行っていますが、その中で今だけでなく将来健康になるためには食を大事にすることが大切なのだとして意識してもらえたらうれしいです。給食時間は友だちや先生と楽しく食事をして、楽しい思い出をたくさんつくってほしいと思います。

### クラブ見学

特別活動部 **川崎 彩子**

クラブ見学は、4年生から始まるクラブ活動に向けて3年生が全てのクラブを見学し、クラブへの期待を膨らませると共に、選ぶ際の参考にしている活動です。また、迎える側の上級生は、自分のクラブの特色や楽しさを伝えようというも以上以上に張り切って活動したり、紹介の準備をしたりしています。

クラブ活動は、自分の好きなことに夢中になれる時間であり、共通の趣味をもつ友達とかかわりを深めることで、さらに個性を輝かせていく機会となる場でもあります。クラブ見学を通し、興味や関心のあるクラブを見つけ、4月からのクラブ活動が充実した時間になることを願っています。

### 若葉お別れ遠足

若葉担任 **中村 振一郎**

6年生の卒業を祝い、若葉学級では、1年間の学習の集大成として、2月17日(金)にお別れ遠足へ行きます。今年は、としまえんへ行きます。としまえんへ行くためには、電車に乗ったり、入園券や乗り物券の購入、そしてレストランで注文したりするためには、金銭を伴う支払いが必要です。

若葉学級では、毎月の算数の時間を使って、貯金学習をしてきました。毎月300~500円を貯金してきました。

いよいよ、お別れ遠足の日には、今まで貯金してきたお金を崩して、お別れ遠足の支払いに充てます。電車に乗るための切符を券売機で購入し、としまえんの窓口で、入園券と乗り物券を買い、レストランでは、自分が食べたいものを選んで、注文して買います。これらひとつひとつのことをしていくために、お金が必要であり、正しくやり取りができなければなりません。

お金の出し入れをはじめ、お財布の管理も大事な学習です。

お別れ遠足を通して、社会生活を送っていくうえで実践力を身につけていくことを狙っています。